

和田公民館

和田地区の概要

和田地区は佐倉市の最東端に位置し、古くは「和田村」と称し、明治22年頃は14の村落で構成されていた。昭和29年の市制発足以降より12の地区から構成されている。和田地区の面積は市全体の約14%に当たる約14.4平方キロ、人口は約1%に当たる1,706人、世帯数は762世帯で、農業が盛んな地域である。

大正頃までの農家の主な産物は米・養蚕であったが、昭和初期になると養蚕が衰え、里芋・落花生・甘藷に変わる。戦後、豚の飼育が盛んになり、昭和27年頃には全国的に有名な養豚地区となる。その後、養豚・酪農・大和芋と専門化され、大型機械の導入も盛んに行われた。

このように専門化された農業地域であるが、年々従事者は減少し、後継者育成は大きな課題となっている。地区全域が市街化調整区域であり、大きい人口増加を見込める計画等もない状況でもある。少子高齢化、核家族化などの進展、青年層の流出など純農村として構成されていた地域社会は大きな変化をし続けている。

一方で地区内を国道51号線と東関東自動車道が通り、佐倉インターチェンジが隣接しているため、企業の物流基地が進出するなど、新たな変化が見られる。

平成11年12月、和田地区の中核施設として和田ふるさと館が開館した。和田出張所、和田コミュニティセンター、和田地域防災集会所、和田農産加工実習所の複合的機能を持つ施設となっている。

また平成12年度には、和田公民館分館として歴史民俗資料室の展示工事を実施し、平成13年4月1日に和田ふるさと館歴史民俗資料室が開室した。

和田地区のデータ

【令和3年3月末現在】

- 和田地区：面積 約14.4㎢ （佐倉市：面積 103.69㎢）
- 和田地区：住基人口 1,706人 （佐倉市：住基人口 173,216人）
- 和田地区：人口密度 118人/㎢ （佐倉市：人口密度 1,670人/㎢）

1. 公民館運営計画

運営方針

佐倉市立公民館活動計画を基本として、使いやすく親しみのある教育施設として住民の自主的交流・集会・学習などの活動を支援し、地域社会教育活動や地域づくりの拠点としてその役割をはたすことに努める。

努力目標

- 新型コロナウイルス感染防止拡大に努める。
- 使いやすく、親しみのある館の環境づくりに努める。
- 地域性を生かした社会教育内容の充実をはかる。
- 公民館事業と地域団体活動等を結びつけていく事で、地域の活性化や課題に対応していくよう努める。

事業内容

1. 学級講座に関する事業

参加者との会話を大切にしながら、趣味・教養的学習から専門的学習に至るまで、日常生活に密着した幅の広い学習を展開し共通の課題を探り、参加者がそれぞれの立場で考え、学習しながら実践に結びつけていくための足がかりとする。

2. 施設・設備・備品の提供

- (1) 開館時間 月～日曜日・祝日 午前9時～午後5時
火・金曜日は午後9時まで
(祝日を除く・夜間の利用がない場合は午後5時まで)

- (2) 休館日 第2第4月曜日、12/28～1/4は休館

3. 団体育成に関する事業

和田地区青少年育成住民会議・和田小PTA民俗資料収集委員会・和田はたおり保存会等の社会教育的団体が、自主的、継続的に活動ができるよう資料の提供や、各機関との連絡調整などを行う。また、各種の住民団体が円滑な活動を進められるよう支援・協力をする。

4. 広報に関する事業

「公民館だより」を年2回発行

5. 歴史民俗資料室展示事業

平成13年4月1日に和田ふるさと館内に開室した歴史民俗資料室において、和田地区民俗資料（佐倉市指定文化財）を中心として、展示・収蔵・調査研究・教育普及活動、及び伝統技術等の保存継承活動を行い、地区の歴史環境・自然環境及び地域の人材を活用した事業を展開する。

6. 図書事業

市立図書館との連携により、図書案内を充実し、リクエスト制度などにより利用増を図る。

(蔵書約1,800冊 貸出し1人10冊 15日間)

2. 公民館利用状況

年度別利用状況

区分	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
利用件数 (件)	620	627	613	491	89
利用人数 (人)	8,060	7,345	6,875	6,451	591
開館日数 (日)	333	333	333	307	230

※市内公民館の新型コロナウイルス感染症拡大防止のための対応

令和 2 年 4 月 1 日～5 月 31 日・・・臨時休館

6 月 1 日～6 月 30 日・・・行政利用のみ

7 月 1 日～10 月 31 日・・・一般利用（利用制限付き）

11 月 1 日～1 月 22 日・・・〃（一部利用制限付き）

1 月 23 日～3 月 22 日・・・行政利用のみ

3 月 23 日～3 月 31 日・・・一般利用（一部利用制限付き）

令和 2 年度施設別年間稼働率

施設名称	利用可能回数	利用回数	稼働率
和室	2,055	59	2.9%
調理実習室	2,056	71	3.5%
団体室	2,053	23	1.1%
会議室	2,063	151	7.3%

※市内公民館の新型コロナウイルス感染症拡大防止のための対応

令和 3 年 1 月 8 日～2 月 7 日・・・開館時間を 20 時まで短縮

～ 事業実施に向けて 健康と安全を最優先に集団感染リスクを回避 ～

令和2年度の事業計画は、令和元年度第3回公民館運営審議会において「令和2年度事業計画案」についてご審議をいただいたが、今般の新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、下表の線引き事業は中止とした。

領域	事業名	対象	期間・回数	内容
家庭教育	子育て教室	2・3歳児と保護者	8月～12月 5回 12月 1回	幼児期における重要な学習機会、遊びや育児の環境の場を提供するなかで、子育てに役立つ情報等も発信していく。また地区子育て支援サークルとの共催を図ることで仲間づくり、コミュニケーションを深める機会とする。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため教室は実施せず。ただし、和田地区在住（1歳から4歳）幼児のいる家庭向けにクリスマスと新年に向けて、時節の手紙を送付した。
	楽しく家庭教育講座	地区内の幼児及び小学生の保護者	前期・後期各1回	子どもがよりよく育つために、家庭の役割や家族のあり方などを学習する。
青少年教育	剣道教室	地域の小学生等 20人	5月～ 3月 40回	地域の小学生を中心とした教室の中で、心身の育成を図る稽古を安全に配慮しながら、皆で力を合わせて行う事が出来た。
	軽スポーツ大会	地区の小学生 20人	10月中旬 1回	地域の協力で各種軽スポーツを実施し、子どもの健全育成を図る。
	夏休みおもしろ体験教室	地区の小学生 20人	8月 1回	保護者と地域の協力により、子どもたちに共同生活体験の機会を提供し、子どもの自主性、協調性、社会性を高める。
	夏休み子どもゼミナール	小学校5.6年生 15人	10/24 9人 11/ 7 7人	中央公民館との共催事業であり、10/24、11/7の星空観察は和田ふるさと館で行った。専門講師のゼミ受講後、駐車場 ^パ ースにおいて星空観察を実施した。
	子ども芸術鑑賞会	地区の小学生	12/16 22人	芸術鑑賞等の様々な機会を通して、心の成長を促し文化芸術の素晴らしさ・楽しさを知ってもらう意図で実施。 ・佐倉ゆうゆう塾講師から季節に合う話を、一緒に身体を動かしながら楽しく聴くことができた。コロナ禍において行事が少ないため、保護者からも喜ばれた。
佐倉学	佐倉っ子塾 料理教室	地区の小学生 各20人	10月～ 2月 3回	和田地区青少年育成住民会議と連携して、地区の小学生向けに、地域の食材を活かした料理教室を実施し、子どもの自立とふるさとへの愛着を深める。
	佐倉っ子塾 伝統文化体験教室	地区の小学生 各15人	年 2回	創造力をはぐくむ講座。（手工芸、凧作りなど、身近で親しみやすい伝統文化の体験学習を予定）
	成人教育	佐倉学体験講座 ふるさと味工房	市内の成人 各15人	地域の伝統的食材を活かして地域間交流を図るとともに食文化の伝承を図る。【太巻き祭り寿司、和田の新鮮野菜料理（大和芋）、蒟蒻作り体験】

領域	事業名	対象	期間・回数	内容	
成人教育	佐倉学講座 地域学	市内の成人 10人	8/ 8 6人 9/26 7人 11/ 1 6人 1/16 6人	<ul style="list-style-type: none"> ・8月は地元公民館運営審議会委員による「縄文・弥生期の地域」の講義を実施した。 ・9月は佐倉野草会会長のご指導により、谷津田生態観察の講義を行った。 ・11月は佐倉市文化財審議員の指導のもと、地元のお寺において「中世の和田地域」を学習した。 ・1月に弥富地区の歴史、自然、文化等についてふるさと弥富を愛する会事務局長より講義を受けた。これらの内容は、CATVチャンネル等で放送された。 	
	和田市民大学 手芸教室	60歳以上の地区の成人 10人	7/ 3 6人 9/ 4 5人 10/ 2 6人 11/ 6 6人 12/ 4 5人	手芸を通して親睦交流を深め、生き甲斐づくりを図ることを目的として開催した。また8月に受講生により、再利用を通じて物を大切にする心を子どもたちに指導する教室を予定していたが、感染症拡大予防のため中止。	
	和田市民大学 和田工芸講座	市内の成人 10人	8/ 1 12人 9/ 5 12人 10/25 11人 12/20 中止 2/ 7 中止	<ul style="list-style-type: none"> ・地元陶芸家を講師として招き8月～10月にて陶芸作品づくりを連続で行った。 ・12/20しめ飾り講習会は感染症の影響を考慮し中止。 ・2/7ストラップミニ草履教室も感染症の影響を考慮し中止。 	
	和田市民大学 地区交流会	地区の成人 40人程度	3月1回中止	地区の高齢者をはじめ多様な世代が、地域交流を図る事を趣旨としてバス見学会を実施する。感染症の影響により中止。	
成人教育	和田地区防災講習会	地区の成人 30人程度	1/31 中止	市・危機管理室より、防災に係る講話を行う。感染症の影響により中止。	
	合同研修会	地区内の住民団体	11/29 中止	人口減少・少子高齢化などの地域課題などに対応するため行う研修会。感染症の影響を考慮し中止。	
団体育成	団体育成事業	和田小PTA民俗資料 収集委員会・和田はた おり保存会・和田地区 青少年育成住民会議等	通年	地域の社会教育団体、住民団体等が円滑に活動できるよう、協力支援する。	
広報展示活動	公民館だより発行	和田地区全世帯	年2回発行 ・5月 ・11月	公民館情報や地域情報を和田地区全世帯に配布する。(各700部)	
	歴史民俗資料室	展示	一般	通年	和田ふるさと館歴史民俗資料室の展示
		見学	市内小学校・ 一般団体等	通年	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年11月に実施している公民館文化展は、新型コロナウイルス感染症を考慮して同時に行う地域まつりと共に中止とした。 ・11月17日～12月27日に、開館20周年を記念して和田地区歴史民俗資料展「和田口伝の機織り～女性活躍社会に向けて～」を開催した。来場者は443人。
図書	図書貸し出し	一般	通年	公民館図書コーナーの図書提供のほか、市立図書館と連携しリクエスト図書の提供を実施する。	

1. 家庭教育事業

子育て教室

- ①開設趣旨 親子でのふれあいや楽しい遊び、講師からの指導を通して親の役割、環境づくりなどの意義を考え、育児知識習得の機会を設けること。また、他の参加者との交流により、育児不安や悩みの共有・相談をすることで孤独感の解消や、子育てで忙しい日々の生活の中の憩いの時間、仲間づくりの場となるよう配慮する。
- ②募集対象 2.3歳児と保護者
- ③プログラム 8月～12月 5回
- ④講座を終えて 少子化の中、和田地区社会福祉協議会内の子育て支援団体と共に手を携え、協力しながら子育て中の親を心身ともに支える時間や場の提供をすることを目的に講座を計画、開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大予防のため講座計画・実行を見送った。年度最後に支援団体と共に地域の就学前児童のいる家庭にクリスマスと新年のあいさつ状を送り、来年につなげることとした。

楽しく家庭教育講座

- ①開設趣旨 子どもがよりよく育つために、家庭の役割や家族のあり方などを学習する。
- ②募集対象 地区内の幼児及び小学生の保護者等
- ③プログラム 前期・後期各1回
- ④講座を終えて 幼・小和田家庭教育学級と共催で年2回実施しているが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。

2. 青少年教育事業

和田剣道教室

- ①開設趣旨 異年齢集団の中で、剣道をとおして心身の育成と社会人として必要な習慣を身につける。そのために協力して共育（共に育て合う）の場となるよう努める。
- ②募集対象 地域の小学生等 20人
- ③開設期間 令和2年5月～令和3年3月 40回
- ④指導者 片岡 康平、江野澤 清美、藤崎 英樹、鶴田 潤子
- ⑤講座を終えて 新型コロナウイルス感染拡大防止対策を図りながら、剣道の「礼に始まり 礼に終わる」を基本に子どもの心身の育成や仲間づくりを図ることができ、親の会についても昨年に引き続き、自主稽古を企画するなど活発に活動した。

軽スポーツ大会

- ①開設趣旨 地域の協力で各種軽スポーツを実施し、子どもの健全育成を図る。
- ②募集対象 地区の小学生 20人
- ③プログラム 10月中旬
- ④講座を終えて 和田地区青少年育成住民会議、和田地区社会福祉協議会共催であり、地域の子供と地域住民が交流する事で、青少年の健全育成を地域で実践する場になっている。今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止とした。

夏休みおもしろ体験教室

- ①開設趣旨 保護者と地域の協力による自主性、協調性、社会性を高める体験教室
- ②募集対象 地区の小学生 20人
- ③プログラム 8月 1回
- ④講座を終えて この講座は子どもたちが何に興味・関心があるのかをリサーチし、夏休み期間を使って公民館で様々な体験事業を実施するものである。今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。

子どもゼミナール

- ①開設趣旨 宇宙業界に長年携わった専門家の方々を講師に招き、少人数制のゼミ形式の講座を開催することにより、佐倉市の将来を担う子ども達のコミュニケーションづくりの場を提供する。
- ②募集対象 市内の小学5・6年生 15人
- ③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	10月24日（土） 19:00～20:30	和田ふるさと館を会場に、天体望遠鏡で星を実際に観察することで、星がどのように見えるのかを学ぶ。	宇宙業界専門家
2	11月7日（土） 19:00～20:30	和田ふるさと館を会場に、天体望遠鏡で星を実際に観察することで、星がどのように見えるのかを学ぶ	宇宙業界専門家

- ④講座を終えて 感染症拡大防止のため、時期・参加人数に配慮した。中央公民館と共催で実施しており、天体望遠鏡で星を観察するこの講座では、児童の宇宙への興味を掻き立てることが出来た。また保護者が一緒に観察することで、親子間の関係も深まったと思われる。

子ども芸術鑑賞会

- ①開設趣旨 子どもたちに文化芸術等に触れ合う機会を提供し、親子等の参加も促しながら、その内容等の素晴らしさを肌で感じてもらう。
- ②募集対象 地区の小学生
- ③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	12月16日（水） 15:00～15:45	クリスマスお話し会	佐倉ゆうゆう塾 主宰 末吉 正子

- ④講座を終えて 和田公民館において、「ゆうゆう塾」のお話し会は今年で3回目となる。今年度は特に、時期、参加人数、場所等に配慮し開催した。感染症予防策として、例年より広い会場で、児童のソーシャルディスタンスを考慮の上シートをセットし、消毒も徹底、開催時間も短時間とした。講師から季節に合う話をしていただき、一緒に身体を動かしながら楽しく聴くことができた。時節柄、職員がサンタクロースとトナカイに扮装し登場したことで場が盛り上がった。行事がないこの時期に開催したことで保護者にも喜んでいただき、また、地域の方の見学もあった。

佐倉っ子塾 料理教室

- ①開設趣旨 地元の方のご指導のもと、料理に興味を持ち、自立や協調性などの育成を図ることを目的として和田地区青少年育成住民会議と公民館が共催で実施する。
- ②募集対象 地区の小学生 各回20人
- ③プログラム 10月～2月 3回
- ④講座を終えて この事業は子どもたちが料理に興味をもち、衛生面に気を付けながら協力して調理し、楽しく食べることを学び、男子児童が一人であっても意欲的に自ら申し込みしてくる事業であることから、毎年、地元協力者の方も力を入れて指導して下さっているが、今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。

佐倉っ子塾 伝統文化体験教室

- ①開設趣旨 手工芸、凧作りなど伝統文化の体験学習を通じて創造力を育む。
- ②募集対象
- ・夏休み編み物体験 地区の小学生 12人
 - ・凧づくり体験 地区の小学生 15人
- ③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	8月7日（金）	夏休み編み物体験	和田市民大学手芸教室講師 手芸教室生徒
2	12月中	凧づくり体験 （六角凧）	和田地区青少年育成住民会議 和田地区青少年相談員 和田子ども会

- ④講座を終えて 「夏休み編み物体験」は、和田市民大学で公民館を利用している高齢者が小学生を指導することにより世代間交流をするとともに、子どもたちが、一つの作品を作り出す喜びを味わうことができる機会であるが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

「凧づくり体験」は、ふるさと館にて、和田子ども会、和田青少年相談員の共催で実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。

3. 成人教育事業

佐倉学体験講座 ふるさと味工房

- ①開設趣旨 地域の伝統的食材を生かして地域間交流を図り、食文化の伝承を図る。
- ②募集対象 市内の成人 各15人
- ③プログラム 9月～2月 4回
- ④講座を終えて 平成12年から続いている人気のある講座であり、和田地区の農業の特長を活かし、地元の新鮮な食材を使用して食文化の伝承を図るとともに、地域の食文化について考える場となっているが本年度はコロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。

佐倉学講座 楽しく学べる和田地域学

- ①開設趣旨 地域住民の協力を得ながら、和田地区の歴史・自然・生活・民俗を学び、実際に伝統文化等の体験をし、豊かな自然を体感することにより、郷土に対する関心を高め、魅力を再発見する。
- ②募集対象 市内の成人 10人
- ③プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	8月8日(土) 18:00～20:30	オリエンテーション 縄文・弥生期の地域	和田未来農業研究会 委員 藤崎 言行
2	9月26日(土) 9:15～11:30	谷津田生態観察	佐倉野草会 会長 近藤 維久子
3	11月1日(日) 14:00～16:00	中世の和田と本佐倉城	中世歴史家 遠山 成一
4	1月16日(土) 9:30～12:00	近隣弥富との交流を通して	ふるさと弥富を愛する会 岡本 美典

- ④講座を終えて コロナ対応を図りながら、和田地区の歴史、自然、まちづくりに係る学習講座を実施した。CATVの協力を得ながら、広く発信するよう努めた。

和田市民大学手芸教室

- ①開設趣旨 手芸の知識や技術の向上を目指すとともに、地域の親睦や生きがいづくりを図る。また、児童に手芸を指導する場を設けることで異世代間交流を深め、児童にも精神的な向上を望む。
- ②募集対象 60歳以上の地区の成人 10人
- ③実施期間 令和2年7月3日～令和2年12月4日 5回
- ④講座を終えて コロナ対応のため午前中のみの短時間で開講したこともあり、受講生は集中して意欲的に作品づくりに取り組んでいた。4月から3月まで11回の開講予定であったが5回実施し、約半数が参加。また、8月の夏休み中における児童への手芸指導は密になるため中止。

和田市民大学和田工芸講座

- ①開設趣旨 和田地区において行われてきた機織り、わら工芸などを地域の伝統文化として位置づけることにより、地域を特色づけ、アイデンティティを醸成する。
工芸は静かな環境で時間をかけてゆったり育まれるものであり、地域性にも合っているため、各種工芸を実施していく中で、地域づくりにつなげていく。
- ②募集対象 市内成人 10人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	8月 1日（土） 9：15～11：30	陶芸①「成形」	地元陶芸家 安本 幸世
2	9月 5日（土） 9：15～11：30	陶芸②「削りと高台付け」	地元陶芸家 安本 幸世
3	10月25日（日） 9：15～11：30	陶芸③「施釉」	地元陶芸家 安本 幸世

④講座を終えて 「陶芸講座」については、新型コロナウイルス感染症拡大対策を図りながら、地元陶芸家の指導の下、連続3回講座として実施し今年度も親切・丁寧な指導のおかげでより良い作品づくりが出来た。例年11月に実施の文化展が感染症の影響により、中止となったため、分館である和田ふるさと館歴史民俗資料室に他の企画展と併せて一定期間展示した。

和田市民大学地区交流会

- ①開設趣旨 心身ともに健康で生がいのある生活を保ち、世代間の交流を図る。
- ②募集対象 地区の成人（子・孫の参加可） 40人程度
- ③プログラム 3月
- ④講座を終えて 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。

和田地区防災講習会

- ①開設趣旨 地域づくり活動として現場で役立つ防災や防犯についての実践的な講習、訓練等を行う。
- ②募集対象 地区の成人 30人程度
- ③プログラム 1月
- ④講座を終えて 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。

合同研修会

- ①開設趣旨 地区社会福祉協議会、地区青少年育成住民会議等の団体とともに、地域づくりにつながる内容の研修を行うことで、良いより地域形成を図る。
- ②募集対象 地区住民団体 40人
- ③プログラム 11月
- ④講座を終えて 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。

4. 団体育成事業

①和田地区青少年育成住民会議

近年、青少年を取り巻く環境は著しく変化しそれに伴い青少年に関する問題は複雑かつ深刻化している。こうした問題を解決するため、市民1人ひとりが問題解決に取り組み、家庭や学校、そして地域がそれぞれの立場で、各種団体と行政が協働して健全育成を推進していくことを目的に、昭和57年、佐倉市青少年育成市民会議が結成された。組織としては市内7地区の青少年健全育成住民会議と、子ども会育成連盟、PTA連絡協議会などその他構成団体からなり、事務局は佐倉市健康こども部児童青少年課が行っている。

和田地区青少年育成住民会議は、地域住民が相互に連携協力し、青少年の健全な育成と非行防止、福祉の向上を図るため、研究並びに協議を行い、地域ぐるみ活動を伸長させることを目的としている。

主な活動としては、防犯パトロールや地域行事の企画・運営、各種団体への助成などを行っている。

②和田小学校PTA民俗資料収集委員会

昭和45年、和田小学校PTAが校史編纂と民俗資料の収集活動をはじめ、昭和46年11月に収集委員会を設置した。収集された民俗資料は、和田小学校郷土学習室、和田公民館民俗資料室での公開を経て平成11年10月に佐倉市へ寄贈された。

ふるさとまつりでの伝承遊びの実演、年末に行われる市民を対象としたしめ飾り講習会、和田小学校生徒へのミニしめ飾り講習会など和田の特色を生かした活動を実施し、地域の教育力の向上を目指した。公民館では地域の民俗や歴史学習の一環として収集委員会の活動を援助している。

③和田はたおり保存会

和田小PTA民俗資料収集委員会の活動で収集されたはたおり機を、地元の高齢者が中心となって復元し、昭和51年に和田公民館で開講したはたおり講座の受講生によって、和田はたおり保存会が結成された。公民館では、和田地区の伝統技術の保全と、はたおり機の動態保存の面から援助を行っている。主な活動としては、年間を通じての定期活動や綿の栽培、歴史民俗資料室を訪れた小学生に対して、糸づくりやはたおり機の実演を行っている。

5. 広報・展示事業

公民館だより

- ねらい 公民館主催事業の情報提供をし、公民館活動への積極的な参加を図る。
- 発行回数 年2回（5月号、11月号）
- 発行部数 各700部
- 配布方法 区長を通し全戸配布及び公共施設配布

歴史民俗資料室展示

- ねらい 和田地区の歴史環境・自然環境及び地域の人材を活用した地域づくりの事業を展開し、学校教育の支援も行う。開館20周年記念として、同時期に開催された国立歴史民俗博物館の企画展と並行し、「和田口伝の機織り～女性活躍社会に向けて～」のテーマを掲げて、地区の伝統工芸である「機織り」企画展を行った。
- 期間・回数 開館日数 223日 来館者数 465人

6. 図書事業

図書貸し出し

○ねらい 読書活動を支援していくと共に、個人学習や集団学習への資料提供を行い学習の深化を図る。リクエストの受付や他館からの返却受付などの利用者の便を図る。また、和田地区関連資料や佐倉市関連資料のコーナーを設け資料収集し、貸し出すことにより、地域理解を深めるための支援を行う。

○蔵書数 1,800冊

月別貸出数・返却数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
貸出数	0	0	10	4	10	0	10	14	2	12	0	12	74
返却数	0	0	26	6	20	22	21	29	5	8	4	131	272